



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2018-2019 年度  
3月号  
NO. 354

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

BF/メネット

国際会長：Moon Sang Bong (韓国) 主題「私たちは変えられる」  
アジア太平洋地域会長：田中博之 (東京多摩みなみ) 主題：「アクション！！」  
東日本区理事：宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題：「為せば、成る。」  
関東東部部長：衣笠輝夫 (埼玉) 主題：「良いものを見つけ・つなげて、よくなる。」  
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題：「楽しもう ワイズ！！」

### 3月例会

と き 2019年3月14日(木)  
PM6:30~8:30  
ところ 東陽町センター「YMCA ホール」

#### ★プログラム

開会点鐘  
ワイズソング/ワイズの信条  
会長挨拶  
食前の感謝/食事  
今月の誕生日/結婚記念日  
・第25回ピースウォーク評価  
・こどもダイニング支援の一年  
・4月合同例会  
スマイル/各種報告  
閉会点鐘

### 東京大空襲

昭和20年3月9日22:30 警戒警報発令、二機のB29が東京上空に飛来して房総沖に退去したと見せかけ、都民が安心した10日00:08に第一弾が投下された。東部軍管区司令部はまだ気付いておらず、当然ながら空襲警報も鳴らない。00:15 空襲警報発令、それから約二時間半にわたって波状絨毯爆撃が行われた。各機平均6トン以上の焼夷弾を搭載した344機のB29の大群が、房総半島沖合から単機または数機に分散して低高度で東京の下町に侵入した。都民の虚をついて来襲したB29の大編隊は、低空からアルミの細片をばら撒いて日本軍の電波探知機を無能にし、機体を捉えたサーチライトには機銃掃射を浴びせかけた。B29の先発部隊が江東区・墨田区・台東区にまたがる40km<sup>2</sup>の周囲にナパーム製高性能焼夷弾を投下して火の壁を作り、住民を猛火の中に閉じ込めて退路を断った。その後から約100万発(2,000トン)もの油脂焼夷弾、黄燐焼夷弾やエレクトロン(高温・発火式)焼夷弾が投下され、逃げ惑う市民には超低空のB29から機銃掃射が浴びせられた。折から風速30mの強風が吹き荒れて火勢を一層激しいものにし、火の玉のような火の粉が舞い踊り、強風に捲かれた炎が川面を舐めるように駆け抜け、直接戦争とは関係の無い一般市民は次第に狭まってくる火の壁の中を逃げまどいながら、性別も判らないような一塊の炭と化すまで焼き尽くされた。(戦災資料センター)

犠牲者

縁者が引取った遺体 約20,000人  
無縁仏・行方不明 約88,000人

#### ✠ 今月の聖句 ✠

『平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。』

—マタイによる福音書第5章9節—

### 2月例会

出席者 8名 ゲスト 1名  
会員出席数 7名 メンバー 名  
在籍数 11名  
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 70%

### スマイル

2月 8,000円

累計 57,500円

### 2018-2019 年度役員

会長 金丸満雄  
副会長 飯田歳樹  
書記 須田哲史  
会計 鮎澤正和  
担当主事 沖 利柯

東京大空襲。特に江東区の被害は甚大で、区内の死者は約32,000人と伝えられています。そのことを江東区内28ヶ所に建立された戦災慰霊碑が語ってくれます。

私たち東京ひがしクラブは、この悲惨な出来事を供養する慰霊碑巡りを、毎年3月にピースウォークとして行っています。今年は3月10日(日)に第25回の記念ウォークとなり、ウォーク後にピースコンサートを開催致します。

\*\*\*\*\*

## 2月例会報告

千代一郎

2月例会は、ちょうどバレンタインの2月14日(木)18時30分より東陽町センターで開かれた。金丸会長の開会挨拶のあと、今回の講師としてお招きした、千葉クラブ副会長石丸隆章氏のゲスト紹介が司会千代より行われた後、石丸氏によるゲストスピーチ「私とYMCA」についてお話を伺いました。

石丸氏の中学、高校時代は、剣道に熱中し心身の鍛練に励んでいた。大学生の時、福岡YMCAに出会い(1990年春)、その後福岡中央ワイズメンズクラブの災害ボランティア活動等にも参加し、特に福岡YMCAの「ちゃちゃまるリーダー」としてサマーキャンプ(サバイバル・乗馬・カヌー・森林・農村)、ウインターキャンプ(スキー・スケート)及び月例キャンプ(今宿少年自然の家)等種々の活動を楽しみに行った。新日鐵就職後は、君津製鉄所への転勤(2002年)を契機に、現所属の千葉クラブとの出会いがあり、爾来千葉YMCAや千葉市少年自然の家等において、簀立てや健康ウォーク等の諸活動をメンバーとともに実施している。また、2013~2017年の4年間はニューヨークで家族と一緒に、仕事と剣道とワイズ活動という三拍子揃った充実した生活を送ることができ、貴重な経験をした。

以上が卓話の内容です。かつての剣道少年が、学生時代のYMCAリーダー活動を経て、ニューヨーク暮らしの貴重な経験も糧にして、現在の千葉クラブの活動の中核を担っているという、約30年間にわたる石丸氏のYMCAヒストリーを興味深く伺うことができ、大変有意義であり嬉しく感じました。終了後は意見交換を行い、各種報告とスマイルで閉会しました。



## ▼ロシアスフォーラム2018

2月11日、東陽町センターにて「10年後のYMCAを語ろう」をテーマに「ロシアス2018」が開催され、会員・職員合わせて40名が参加しました。上田晶平氏(会員部運営委員長)の司会により、「会員増強」「情報発信」「コミュニティの将来」「ユースの育成」の切り口から4名のパネリストによる発題があり、それを受けて小グループに分かれて意見交換と発表をしました。

年に一度、会員と職員が忌憚無くYMCAについて語り合う場として継続して実施されています。次回は是非ご参加ください。

## ▼障がい者スポーツシンポジウム

1月22日、有楽町朝日ホールで行なわれた「第4回朝日新聞 障がい者スポーツシンポジウム」に堀雄二氏(東京YMCA社会体育・保育専門学校校長)が出演しました。スポーツジャーナリストの増田明美さんやタレントの中川翔子さんほかパラリンピックの選手たちと共に、障がい者がスポーツに親しむための課題や、それを乗り越えるために必要なことについてディスカッションをし、2月19日にはその特集記事が、朝日新聞全国版に掲載されました。

## ▼ピンクシャツデー

2月27日のいじめ反対運動「ピンクシャツデー」に合わせ、全国YMCAでは様々な取り組みがなされた。東陽町センターでもピンクシャツウィークとして、「あなたは、いじめをなくすため何ができますか?」というテーマについて思いを書き大きなピンクのシャツを作りました。



## ▼陽春の集い

2月23日に東陽地区の高齢者の交流を目的とした陽春の集いが開催されました。当日は107名の高齢者と32名のボランティア、スタッフが参加し賑やかに開催されました。福餅をご一緒に楽しみ、昔遊び、吹き矢、書道に挑戦。その後は落語や舞踊、音楽などで笑顔が一杯になりました。この陽春の集いは、クリスマスオープンハウスの益金によって運営されています。



当日のお餅つき、お雑煮の振る舞いなどひがしクラブの皆様には大変お世話になりました。

重ねて御礼申し上げます。

## ▼今後の予定

- ・東京大空襲体験画展  
3月4日~10日  
東陽町コミュニティセンターロビー
- ・ピースコンサート  
3月10日(日)PM1:00~2:00  
東陽町センターYMCAホール
- ・第29回チャリティーゴルフ大会(担当:会員部)  
4月11日(木)  
レイクウッド総成カントリークラブ

## ★今月の誕生日

須田哲史さん(1日)  
斉藤蓉子様(6日)

